

# 日野病院日誌

—11度目の秋を迎えて—



日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦

私は鳥取大学を平成13年3月に定年退官後、ご縁があって日野病院に赴任してから早くも11度目の秋を迎えました。その間、母校鳥取大学眼科の井上教授はじめ多くの医局の先生方の絶大なるご支援を得て、外来診療はもとより、平成13年10月からは近代設備のもとに手術室で白内障を中心とした眼科手術を行ってきました（当院では、原則入院）。

従って、本来8月末で手術開始9年11ヵ月が経過したことになりますが、この間、1026名（男性369名、女性が657名、比率として男性36.0%、女性64.0%）の主として加齢に伴う白内障手術を延べ1627件施行しました（表1、2）。年齢は43歳から102歳の平均77.0歳でした。ちなみに、80歳以上の方は男性が392名中130名の35.2%、女性が262名の66.8%を占めており（表1）、今日の女性優位の高齢化社会を反映する結果でした。

本院での上記白内障手術患者さんが、本年6月14日で1000名の大台に乗ったことは、この「せせらぎ」の原稿を書く時点までは気がつきませんでした。全員トラブルもなく元気で退院され、ご満足いただいたことは、スタッフ一同大いに感謝申し上げている次第です。

外来の特殊なレーザー装置を用いての後発白内障切開術件数202件を加えて、手術開始9年11ヵ月間の白内障関連手術件数は合計1829件（表2）を数えますが、見える喜びは、ご本人のみならずご家族はもとより我々スタッフ一同も含めた全員の喜びでもあります。今後も住民の皆様方のQuality of Vision（視覚の質）の確保のために努力してまいりたいと思いますので、関係各位の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

〔追記〕此の度、思いがけず日野病院組合管理者の景山享弘日野町長始め組合関係者並びに病院当局を代表して櫃田豊病院長より、すばらしい感謝状と記念品を「白内障手術患者1000名」を記念して賜りましたが、関係スタッフ全員にいただいたものとこの紙上を借りて、厚く御礼申し上げます。

表1 手術開始9年11ヵ月間の手術室使用の白内障手術患者の年齢分布

性別	患者数	年齢分布（歳）	平均年齢（歳）	80歳以上の患者数
男	369 (36.0)	43～98	76.5	130 (33.2)
女	657 (64.0)	46～102	77.3	262 (66.8)
合計	1026	43～102	77.0	392

( ) 百分率。備考：手術室は平成13年10月より使用。

表2 手術開始9年11ヵ月間の白内障関連手術件数

	手術名	件数
手術室使用※	白内障手術	1627
	(内訳) 水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）	1622
	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	5
外来	後発白内障手術	202
	合計	1829

※平成13年10月より手術室使用。